

株主のみなさまへ
ほっとらいん

第97期中間事業概況
2020年4月～2020年9月



INDEX

P1 メッセージ

P2 財務情報

P3-5 トピックス

- ①「東北電力 エコな暮らしプロジェクト」の展開
Pick up おトクな料金プランのご紹介
- ②スマート社会実現に向けた取り組み
- ③原子力発電所の再稼働に向けた取り組み
- ④東北電力奥会津水力館 みお里 MIORI® がオープン



取締役会長
海輪 誠

取締役社長
樋口 康一郎

Message

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を
たまわり、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方
に心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社第97期中間事業概況（2020年度上半
期）をご報告申し上げます。

当社の2020年度上半期決算（連結）は、電力の販
売に伴う収入が減少したものの、燃料市況を踏まえた
LNGのスポット調達拡大により燃料費を低減させた
ことや、発電所定期点検等の実施時期の違いから修
繕費が減少したことなどに加えて、燃料費調整制度
のタイムラグ影響が利益を押し上げたことから、経常
利益は805億円となりました。

2020年度中間配当金につきましては、上記の決算
および財務の状況などを総合的に勘案し、1株につき
20円とさせていただきます。

当社は、今年2月に「東北電力グループ中長期
ビジョン」を策定し、これまでの電力供給事業を基盤に、
地域に住む方々の快適・安全・安心な暮らしに貢献
する「スマート社会実現事業」を成長事業と位置づけ、
ビジネスモデルの転換に挑戦しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せ
ない状況にあります。こうしたなかで、社会・経済

の構造やビジネススタイルは急速に変化しています。
また、オフラインからオンライン、集中から分散、非対
面や遠隔でのコミュニケーションなど、コロナ禍を経
て変わった生活・社会の在り方は、当社の中長期ビジョ
ンが描くスマート社会の姿と重なります。そのため、
当社グループは、2030年代のありたい姿である
「東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、
社会の持続的発展とともに成長する企業グループ」
に向けてより一層取り組みを加速してまいります。

また、環境に係る対応としましては、再生可能エネ
ルギーの開発、原子力発電所の再稼働、火力発電の熱
効率向上、二酸化炭素回収貯留（CCS）の技術確立に
向けた支援等を進めることにより、全世界的な課題と
なっている気候変動の問題に取り組んでまいります。

当社といたしましては、東北電力グループスローガン
「より、そう、ちから。」のもと、東北電力グループ一
丸となって、お客さまや地域をはじめとするステーク
ホルダーのみなさまのご期待にお応えしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解
とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

2020年11月